

平成 25 年度口頭発表等一覧

[企画部]

- ◇Geospatial World Forum2013 (地理空間情報世界フォーラム 2013) 平成 25 年 5 月 12～16 日 Beurs-World Trade Centre (オランダ国 ロッテルダム)
 - ・ Creating common open policy environment of Japan (日本の公共に開かれた政策環境をつくるために) : 稲葉 和雄 (参事官)
- ◇日本地図学会平成 25 年度定期大会 平成 25 年 8 月 1 日～2 日 東京大学柏キャンパス (千葉県柏市)
 - ・ 国連の地名標準化活動について : 金子 純一
- ◇Asia Geospatial Forum 2013 (アジア地理空間情報フォーラム 2013) 平成 25 年 9 月 24～26 日 Putra World Trade Centre (マレーシア国 クアラルンプール)
 - ・ Activities of Geospatial Information Authority of Japan in response to the Great East Japan Earthquake (国土地理院の東日本大震災への対応活動) : 田中 宏明
- ◇日本写真測量学会平成 25 年度秋季学術講演会 平成 25 年 11 月 7 日～9 日 福井国際交流会館 (福井県福井市)
 - ・ 測量新技術の公共測量への適用について : 長谷川 裕之

[測地部]

- ◇日本地球惑星科学連合 2013 年大会 平成 25 年 5 月 19 日～24 日 幕張メッセ国際会議場 (千葉県千葉市)
 - ・ 2008 年岩手・宮城内陸地震による地すべり性地表変動の SAR 干渉画像による観測 : 佐藤浩 (企画部) 宮原伐折羅・岡谷隆基 (研究センター)・小荒井衛 (研究センター)
 - ・ 干渉 SAR 時系列解析による伊豆大島の地殻変動 : 山中雅之・森下遊
 - ・ 干渉 SAR 時系列解析を用いた豊後水道スロースリップイベント検出の試み : 宮原伐折羅・鈴木啓 (総務部)・森下遊
 - ・ 低コヒーレンス地域における複数衛星の InSAR 結果を使用した変動量推定 : 森下遊・R. Hanssen (デルフト工科大学)
 - ・ SAR 干渉解析を利用した関東地方における地盤変動検出の試み : 鈴木啓 (総務部)・宮原伐折羅・森下遊・小林知勝 (研究センター)
 - ・ International Cooperation within IAG's Geodetic Services ILRS and IVS, and the Japanese Contribution (大容量データの時代におけるグローバルデータの科学) : 大坪俊通 (一橋大学)、栗原忍、Carey E Noll、Dirk Behrend (NASA/GSFC)
 - ・ VLBI2010 ～ 新たな VLBI 観測局の整備 ～ (進捗報告) : 栗原忍
 - ・ 国土地理院における伊豆大島集中観測 : 栗栖悠貴 (関東地方測量部) (ポスター)
 - ・ 稠密水準測量による御前崎地域における地殻変動の把握 : 高野和友 (地理地殻活動研究センター) (ポスター)
- ◇第 12 回 IVS 技術開発センターシンポジウム 平成 25 年 6 月 6 日 情報通信研究機構鹿島宇宙技術センター (茨城県鹿嶋市)
 - ・ VLBI2010 アンテナの建設 : 福崎順洋

- ・ VLBI2010 データ取得システムの開発：栗原忍
- ・ つくば VLBI 観測局の現況報告～過負荷によるアンテナ基礎部の損傷～：若杉貴浩
- ◇第 42 回国土地理院報告会 平成 25 年 6 月 7 日 日経ホール（東京都千代田区）
 - ・ スマート・サーベイ・プロジェクト(SSP)の取り組みーGNSS を活用した測量業務の効率化ー：後藤清
- ◇The 4th Asia-Pacific Conference on Synthetic Aperture Radar（アジア太平洋 SAR 国際学会） 平成 25 年 9 月 23 日～27 日 つくば国際会議場（茨城県つくば市）
 - ・ Deformation Parameter Estimation in Low-coherence Areas Using a Multi-satellite InSAR Approach（低コヒーレンス地域における複数衛星の InSAR 結果を使用した変動量推定）：森下遊・Ramon F. Hanssen（デルフト工科大学）
- ◇日本地形学連合 2013 年秋季大会ミニシンポジウム 平成 25 年 9 月 13 日 東北学院大学土樋キャンパス（宮城県仙台市）
 - ・ SAR 干渉画像で検出した 2011 年東北地方太平洋沖地震と 2008 年岩手・宮城内陸地震における地すべり性地表変動：佐藤浩（日本地図センター）・宮原伐折羅
- ◇第 11 回水沢 VLBI 観測所ユーザーズミーティング 平成 25 年 10 月 2 日～3 日 国立天文台（東京都三鷹市）
 - ・ 国土地理院の VLBI アンテナの現状報告及び将来計画：福崎順洋・田邊正・黒田次郎・栗原忍・川畑亮二・若杉貴浩
- ◇第 22 回地理情報システム学会研究発表大会 平成 25 年 10 月 26 日～27 日 慶応義塾大学三田キャンパス（東京都港区）
 - ・ 地理空間情報の平面位置正確度の評価：小清水寛・井上真幸
- ◇第 120 回日本測地学会秋季講演会 平成 25 年 10 月 29 日～31 日 国立極地研究所（東京都立川市）
 - ・ 中国・四国・九州地方における「日本のジオイド 2011」の精度評価：兒玉篤郎・森下遊・宮原伐折羅・河和宏・黒石裕樹（地理地殻活動研究センター）
 - ・ GIANt による干渉 SAR 時系列解析：山中雅之・森下遊（ポスター）
 - ・ 干渉 SAR 時系列解析による地盤変動監視の実用化へ向けて：森下遊
 - ・ つくば VLBI 観測局現況報告ー過負荷によるアンテナ基礎部の損傷ー：若杉貴浩
 - ・ VGOS 観測局の整備（その 1）：栗原忍・福崎順洋・黒田次郎
 - ・ VGOS 観測局の整備（その 2）：福崎順洋・田邊正・黒田次郎・栗原忍・川畑亮二・若杉貴浩
- ◇平成 25 年度国土交通省国土技術研究会 平成 25 年 11 月 7 日～8 日 国土交通省（東京都千代田区）
 - ・ 測量の効率化・低コスト化を実現～衛星測位と電子基準点の新活用法～：岩田和美
- ◇18th International Workshop on Laser Ranging（第 18 回国際レーザーレンジングワークショップ） 平成 25 年 11 月 11 日～15 日 富士急ハイランドホテル（山梨県富士吉田市）
 - ・ Recent Progress and Future Perspectives of the International VLBI Service for Geodesy and Astrometry (IVS)（国際 VLBI 事業 (IVS) の最近の進展と将来展望）：栗原忍
- ◇2013 年度 VLBI 懇談会シンポジウム 平成 25 年 12 月 24 日～26 日 筑波大学（茨城県つくば市）
 - ・ 国土地理院 機関報告：黒田次郎、田邊正、福崎順洋、栗原忍、川畑亮二、若杉貴浩
 - ・ 「VLBI2010」対応アンテナの建設（その 2）：福崎順洋、黒田次郎、栗原忍
 - ・ アジア・オセアニア VLBI コミュニティの創設について：栗原忍
 - ・ つくば VLBI 観測局現況報告ーアンテナ基礎部の損傷と修繕ー：若杉貴浩、川畑亮二
- ◇8th IVS General Meeting（第 8 回国際 VLBI 事業 (IVS) 総会） 平成 26 年 3 月 2 日～7 日 Jianguo Hotel

Shanghai (中華人民共和国 上海)

- Construction of VGOS Station in Japan (日本における VGOS 観測局の建設) : 福崎順洋、田邊正、黒田次郎、栗原忍、川畑亮二、若杉貴浩
 - Status Report on the Tsukuba Correlator and Analysis Center (つくば相関局と解析センターの活動報告) : 栗原忍
 - Status Report on the Tsukuba VLBI Station – Damage to the Substructure of the Antenna and Its Repairment – (つくば VLBI 観測局の現状報告—アンテナ基礎部の損傷とその修繕—) : 若杉貴浩、川畑亮二
- ◇日本天文学会 2014 年春季年会 平成 26 年 3 月 19 日～22 日 国際基督教大学 (東京都三鷹市)
- 広帯域受信電波望遠鏡 (パラボラアンテナ) の開発 (2) : 福崎順洋

[地理空間情報部]

- ◇日本地球惑星科学連合 2013 年大会 平成 25 年 5 月 19～24 日 幕張メッセ国際会議場 (千葉県千葉市)
- 電子国土 Web.NEXT の公開 : 佐藤壮紀, 田中友規, 神田洋史, 北村京子, 小菅豊
- ◇第 42 回国土地理院報告会 平成 25 年 6 月 7 日 日経ホール (東京都千代田区)
- 地理空間情報ライブラリーの公開 -地理空間情報の共有・見える化への取り組み- : 山後公二
- ◇日本地図学会平成25年度定期大会 平成25年8月1～2日 東京大学 柏キャンパス (千葉県柏市)
- デジタル時代の地図表現を考える : 藤村英範

[基本図情報部]

- ◇第 42 回国土地理院報告会 平成 25 年 6 月 7 日 日経ホール (東京都千代田区)
- 測量新技術の精度検証と今後の活用—MMS 及び航空機 SAR— : 大野 裕幸
 - 国土の基本的な地理空間情報の刊行—数値地図 (国土基本情報)・電子地形図 25000— : 下山 泰志
- ◇日本地図学会平成 25 年度定期大会 平成 25 年 8 月 1 日～2 日 東京大学空間情報科学研究センター (千葉県柏市)
- 回転楕円体に適用したサンソン図法 : 政春 尋志
- ◇2013 年京都国際地理学会議 (IGU2013) 平成 25 年 8 月 4 日～9 日 国立京都国際会館 (京都府京都市)
- Development of new style map products by the Geospatial Information Authority of Japan (国土地理院の新スタイルの地図プロダクトの開発) : 政春 尋志・松村 正一 (地理空間情報部)・木下 章・福島 芳和 (企画部)・宇根 寛 (応用地理部)
- ◇日本写真測量学会 平成 25 年度秋季学術講演会 平成 25 年 11 月 7 日～8 日 福井国際交流会館 (福井県福井市)
- Pleiades データを用いて作成した地図情報の精度評価 : 藤原博行、大野裕幸、大塚力、瀧繁幸

[応用地理部]

- ◇日本地球惑星科学連合 2013 年大会 平成 25 年 5 月 19 日～24 日 幕張メッセ国際会議場 (千葉県千葉市)
- 地球地図第 2 版と精度検証 (ポスター発表) : 鶴生川太郎・齋藤俊信・植田摩耶・稗田かや (応用地理部 環境地理課)・中村孝之 (基本図情報部)・大塚力 (基本図情報部)・高橋広典 (中国地方測量部)・本嶋 裕介 (環境省自然環境局)・北浦一輝 (環境省地球環境局)
- ◇第 42 回国土地理院報告会 平成 25 年 6 月 7 日 日経ホール (東京都千代田区)

・地球地図に関する国連の動向と第2版の整備：安藤暁史

◇2013年日本地理学会秋季学術大会 平成25年9月28日～29日 福島大学（福島県福島市）

・土地条件をより重視した液状化ハザードマップ改訂の試み：宇根寛（応用地理部）

[測地観測センター]

◇日本地球惑星科学連合2013年大会 平成25年5月19～24日 幕張メッセ国際会議場（千葉県千葉市）

・マルチGNSSによる高精度測位技術の開発：古屋智秋・酒井和紀・万所求・辻宏道・平井英明・川元智司（地理地殻活動研究センター）・宮川康平・宮原伐折羅・畑中雄樹（地理地殻活動研究センター）・宗包浩志（地理地殻活動研究センター）

◇第42回国土地理院報告会 平成25年6月7日 日経ホール（東京都千代田区）

・マルチGNSS測量の実現に向けて一複数の衛星系を組み合わせる技術の開発ー：宮川康平

◇第57回宇宙科学技術連合講演会 平成25年10月9～11日 米子コンベンションセンター「ビッグシップ」（鳥取県米子市）

・準天頂衛星の測量利用に向けた取り組み：古屋智秋・酒井和紀・万所求・辻宏道・山口和典・川元智司（地理地殻活動研究センター）・宮川康平・矢萩智裕・畑中雄樹（地理地殻活動研究センター）・宗包浩志（地理地殻活動研究センター）

◇日本測地学会第120回講演会 平成25年10月29～31日 国立極地研究所（東京都立川市）

・マルチGNSSによる高精度測位技術の開発ー衛星系を組み合わせる技術ー：古屋智秋・酒井和紀・万所求・辻宏道・山口和典・宮川康平・矢萩智裕・畑中雄樹（地理地殻活動研究センター）・宗包浩志（地理地殻活動研究センター）・川元智司（地理地殻活動研究センター）

◇5th Asia Oceania Regional Workshop on GNSS（第5回アジアオセアニアGNSS地域ワークショップ）平成25年12月1～3日 ハノイ工科大学（ベトナム国 ハノイ）

・Status of Modernization of GEONET and Development of Multi-GNSS Analysis Software for Precise Surveying（GEONETの高度化とマルチGNSS解析ソフトウェアの開発）：古屋智秋

◇日本地球惑星科学連合2013年大会 平成25年5月19～24日 幕張メッセ（千葉県千葉市）

・新しいGEONETリアルタイム解析システムの開発：川元智司（地理地殻活動研究センター），宮川康平，山口和典，西村卓也（京都大学），宮原伐折羅（測地部），古屋智秋，酒井和紀，畑中雄樹（地理地殻活動研究センター），根本悟（測地部），辻宏道，太田雄策（東北大学），日野亮太（東北大学），木戸元之（東北大学），飯沼卓史（東北大学），藤本博己（東北大学），三浦哲（東北大学）

◇American Geophysical Union Fall Meeting 2013（2013年米国地球物理学連合秋季大会）平成25年12月9～13日 モスコーンセンター（米国・サンフランシスコ）

・Development of a new real-time GNSS data analysis system in GEONET for rapid Mw estimates in Japan（迅速な地震規模推定のための新しいGEONET GNSSリアルタイム解析システムの開発）：川元智司（地理地殻活動研究センター），宮川康平，矢萩智裕，山口和典，辻宏道，西村卓也（京都大学），太田雄策（東北大学），日野亮太（東北大学），三浦哲（東北大学）

[地理地殻活動研究センター]

◇第3回火山巡回展霧島火山 平成25年4月16日～6月30日 産業技術総合研究所地質標本館（茨城県つくば市）

・新燃岳2011 マグマはどこからきたのか：小林知勝

◇筑波大学 GIS 研究会 平成 25 年 4 月 18 日 筑波大学 (茨城県つくば市)

- ・東日本大震災における液状化被害の空間的特徴—浦安市での事例を中心に：中埜貴元

◇日本地すべり学会東北支部平成 25 年度シンポジウム「空間把握・解析技術の進展と斜面防災への活用」
平成 25 年 4 月 25 日 仙台市戦災復興記念館 (宮城県仙台市)

- ・既存の地理空間情報や航空レーザデータを活用した斜面リスク評価：小荒井衛・神谷泉・岡谷隆基 (企画部)

◇日本地球惑星科学連合 2013 年大会 平成 25 年 5 月 19 日～24 日 幕張メッセ国際会議場 (千葉県千葉市)

- ・日向灘のスロースリップ：小沢慎三郎
 - ・越後平野で観測された東北地方太平洋沖地震に伴う局所的に大きな地殻変動：西村卓也・水藤尚・小林知勝・董勤喜 (計算力学研究センター)
 - ・日向灘と相模トラフにおける GNSS データによる短期的スロースリップイベントの検出：西村卓也
 - ・東北地方太平洋沖地震に伴う粘弾性緩和による変動の見積もり：水藤尚
 - ・地殻変動観測における Along-track InSAR の有効性の検討：小林知勝
 - ・国内 VLBI 観測のシミュレーションによる評価：高島和宏・田邊正 (宇宙測地課)
 - ・GEONET データを用いた「だいち」 SAR 干渉画像の電離層補正手法の開発 (序報)：宗包浩志
 - ・GEONET における大気擾乱の影響評価システムの構築：石本正芳
 - ・信濃川歪集中帯における地震による活褶曲の成長と斜面変動：小荒井衛・小松原琢 (産業技術総合研究所)・中埜貴元・岡谷隆基 (企画部)・黒木貴一 (福岡教育大学)
 - ・地形分類情報を活用した液状化発生危険度の予測：小荒井衛・中埜貴元・神谷泉・松岡昌志 (東京工業大学)
 - ・航空レーザ計測データより導出される樹高・樹木密度と斜面崩壊との関係：岡谷隆基・乙井康成・中埜貴元・小荒井衛
 - ・Mobile Mapping System による東北地方太平洋沖地震に伴う津波浸水深の計測：岡谷隆基・小荒井衛・中埜貴元
 - ・2011 年長野県・新潟県県境付近の地震に伴う地盤災害の分布特性：中埜貴元・小荒井衛・乙井康成・小林知勝
 - ・コンポジット衛星データによる新潟県中越地震の斜面崩壊抽出：黒木貴一 (福岡教育大)・小荒井衛・小松原琢 (産業技術総合研究所)・岡谷隆基・中埜貴元
- ◇日本写真測量学会平成 25 年度年次学術講演会 平成 25 年 5 月 20 日～21 日 東京大学生産技術研究所 (東京都目黒区)
- ・地震時地盤被害予想システムの開発：神谷泉・小荒井衛・乙井康成・中埜貴元
- ◇千葉大学大学院園芸学研究科「国際ランドスケープ学展開論」特別講演 平成 25 年 5 月 31 日 千葉大学園芸学部 (千葉県松戸市)
- ・航空レーザ測量による景観生態学図の作成：小荒井衛
- ◇第 12 回 I V S 技術開発センターシンポジウム 平成 25 年 6 月 6 日 情報通信研究機構鹿島宇宙技術センター (茨城県鹿嶋市)
- ・VLBI2010 時代における国内 VLBI 観測のシミュレーション評価：高島和宏
- ◇第 42 回国土地理院報告会 平成 25 年 6 月 7 日 日経ホール (東京都千代田区)
- ・GEONET による地殻変動監視における気象の影響：石本正芳

- ・地震時の地盤災害のリアルタイムの予想：神谷泉
- ◇平成 25 年度第 1 回 GIS 基礎技術研究会 平成 25 年 6 月 15 日 九州大学伊都キャンパス（福岡県福岡市）
- ・災害リスクを評価する上で有効な地理空間情報について：小荒井衛
- ◇IAVCEI（国際火山学及び地球内部化学協会）2013 年学術総会 平成 25 年 7 月 20 日～24 日 かがしま県民交流センター（鹿児島県鹿児島市）
- ・Intermittent inflations recorded by broadband seismometers prior to caldera formation at Miyake-jima volcano in 2000（2000 年三宅島火山活動のカルデラ形成直前に広帯域地震計で断続的に記録された膨張）：小林知勝・大湊隆雄（東京大学）・井田喜明（アドバンスソフト株式会社）・藤田英輔（防災科学技術研究所）
- ・Volcanic activity history of Iō To Island in Ogasawara Archipelago estimated by the terrace chronology and crustal deformation observation（詳細な段丘編年と地殻変動観測により推定した小笠原硫黄島の火山活動史）：中埜貴元・今給黎哲郎（測地観測センター）・小荒井衛・大井信三（総務部）・佐々木圭一（金沢大学）
- ・Volcanic hazard estimation using tephra GIS and geo-spatial information（テフラ GIS と地理空間情報を活用した火山災害の評価）：小荒井衛・鈴木毅彦（首都大学東京）
- ◇日本地図学会平成 25 年度定期大会 平成 25 年 8 月 1 日～2 日 東京大学 柏キャンパス（千葉県柏市）
- ・ジオパークの地図の地形表現について：小荒井衛
- ◇IGU 2013 Kyoto Regional Conference（2013 年京都国際地理学会議） 平成 25 年 8 月 4 日～9 日 国立京都国際会館（京都府京都市）
- ・Surveying tsunami flooded depth brought by the 2011 off the Pacific Coast of Tohoku Earthquake by Mobile Mapping System (MMS)（Mobile Mapping System による東北地方太平洋沖地震に伴う津波浸水深の計測）：岡谷隆基（企画部）・小荒井衛・中埜貴元
- ・Characteristic of foundation disaster distribution caused by a strong inland earthquake in fold region—Experience with the Nagano-Niigata border Earthquake in 2011（褶曲地帯の内陸直下型地震により発生する地盤災害分布の特徴—2011 年長野県新潟県県境付近の地震を例に）：中埜貴元・小荒井衛・乙井康成・小林知勝
- ・Geographical classification considering disaster properties in Japan（災害の視点から見た日本国土の地理学的特性区分）：小荒井衛・中埜貴元・Ye 京録（千葉大学）
- ・Landscape ecological maps by LIDAR Survey data（航空レーザ計測による景観生態学図）：小荒井衛・中埜貴元・乙井康成・佐藤浩（企画部）・吉田剛司（酪農学園大学）・山下亜紀郎（筑波大学）・長澤良太（鳥取大学）・日置佳之（鳥取大学）
- ◇京都大学防災研究所特定研究集会「SAR が切り拓く地球人間圏科学の新展開」 平成 26 年 8 月 22 日～23 日 京都大学防災研究所（京都府宇治市）
- ・「SAR による地盤変動観測・研究のこれまで、そしてこれから ～国土地理院の SAR 解析を振り返りながら～」：小林知勝
- ◇国際地図学会（ICA） 平成 25 年 8 月 25 日～30 日 ドレスデン国際会議場（ドイツ国 ドレスデン市）
- ・Liquefaction damage by the 2011 Off the Pacific Coast of Tohoku Earthquake in Japan and land condition of damaged area detected by time serial geospatial information（東北地方太平洋沖地震による液状化被害と時系列地理情報から把握した被災域の土地条件）：小荒井衛・中埜貴元・岡谷隆基・乙井康成・宇根寛（応用地理部）
- ◇IAG Scientific Assembly 2013（国際測地学協会 2013 年総会） 平成 25 年 9 月 1 日～6 日 Dorint Sanssouci

Berlin/Potsdam(ドイツ国ポツダム市)

- ・ Thermal tilt of GPS monuments(GPS モニュメントの熱傾斜について) : 宗包浩志
- ◇日本地質学会第 120 年学術大会 平成 25 年 9 月 13 日～18 日 東北大学 (宮城県仙台市)
 - ・ 地理空間情報の解析からみた津波被害と土地条件との関係 : 小荒井衛・中埜貴元・岡谷隆基 (企画部)
- ◇第 4 回アジア太平洋合成開口レーダー学会 (The 4th Asia-Pacific Conference on Synthetic Aperture Radar) 平成 25 年 9 月 23 日～27 日 つくば国際会議場 (茨城県つくば市)
 - ・ The 2011 Tohoku earthquake and the related disasters observed by InSAR using ALOS/PALSAR: Mainshock, induced inland earthquakes, and Liquefaction (ALOS/PALSAR を用いた InSAR 解析により観測された 2011 年東北地方太平洋沖地震とそれに伴う災害 : 本震, 誘発地震, 液状化) : 小林知勝
- ◇日本地理学会 2013 年秋季学術大会 平成 25 年 9 月 28 日～30 日 福島大学 (福島県福島市)
 - ・ 東日本大震災における津波浸水深と被害の関係 : 小荒井衛・岡谷隆基 (企画部)・中埜貴元
 - ・ 土地条件データを用いた地震ハザード評価基準の再検討 : 中埜貴元・小荒井衛・神谷泉
 - ・ SAR 干渉画像で捉えた静岡市口坂本地区の地すべりの前兆変動 (速報) : 中埜貴元・小荒井衛・大丸裕武 (森林総研)・三森利昭 (森林総研)・岡田康彦 (森林総研)・小川明徳 (森林総研)
- ◇日本地震学会 2013 年度秋季大会 平成 25 年 10 月 7 日～9 日 神奈川県民ホール・産業貿易センター (神奈川県横浜市)
 - ・ 東北地方太平洋沖地震後の東海地方の地殻変動 : 水藤尚
- ◇地理情報システム学会第 22 回研究発表大会 平成 25 年 10 月 26 日～27 日 慶応大学三田キャンパス (東京都港区)
 - ・ 災害の視点から見た日本の地理的地域特性区分 : 小荒井衛・中埜貴元・芮京祿 (千葉大学)
- ◇地理空間情報を用いた防災・減災セミナー 平成 25 年 10 月 21 日 広島工業大学専門学校 (広島県広島市)
 - ・ デジタル標高データの利用事例 : 小荒井衛
- ◇日本測地学会第 120 回講演会 平成 25 年 10 月 29 日～31 日 国立極地研究所 (東京都立川市)
 - ・ 精密単独測位法によるキネマティック GPS 座標時系列の再現性評価 : 宗包浩志
 - ・ GNSS/ 験潮観測からの平均海面位の重力ポテンシャル値の推定 : 黒石裕樹
 - ・ VLBI 相関処理技術を利用した時空情報正当性検証に関する基礎研究 : 高島和宏・市川隆一 (情報通信研究機構)・高橋富士信 (横浜国立大学)・大坪俊通 (一橋大学)・小山泰弘・関戸衛 (情報通信研究機構)・瀧口博士 (オークランド工科大学)・ホビガートーマス (情報通信研究機構)
- ◇国土技術研究会 平成 25 年 11 月 7 日～8 日 中央合同庁舎 2 号館 (東京都千代田区)
 - ・ 地震時における地盤災害のリアルタイム予想 : 神谷泉
- ◇日本写真測量学会平成 25 年度秋季学術講演会 平成 25 年 11 月 7 日～9 日 福井国際交流会館 (福井県福井市)
 - ・ ビデオ映像を利用した竜巻の位置の同定 : 神谷泉・松岡洋子 (早稲田大学)・乙井康成
- ◇第五回 GIS-Landslide 研究会 平成 25 年 11 月 9 日 防災科学技術研究所 (茨城県つくば市)
 - ・ 基盤地図情報(5mDEM)を用いた伊豆大島の斜面分類 : 岩橋純子・中埜貴元・小荒井衛
- ◇(一社)日本リモートセンシング学会第 55 回 (平成 25 年度秋季) 学術講演会 平成 25 年 11 月 21 日～22 日 日本大学工学部 (福島県郡山市)
 - ・ 干渉 SAR 技術による大規模斜面変動の前兆把握の可能性 : 小荒井衛・中埜貴元・佐藤浩 (地図センター)・岡谷隆基 (企画部)・大丸裕武 (森林総研)

◇CSIS DAYS 2013 全国共同利用研究発表大会 平成 25 年 11 月 22 日～23 日 東京大学柏キャンパス(千葉県柏市)

- ・地震による地盤災害特性データ(全国版)の作成及び過去の被害との比較:中埜貴元・小荒井衛・神谷泉
- ・航空レーザ測量アーカイブデータから推測した樹高・樹木本数と現地状況の比較:岩橋純子・岡谷隆基・乙井康成・小荒井衛・中埜貴元

◇筑波大学大学院共通科目 平成 25 年 11 月 26 日 地図と測量の科学館(茨城県つくば市)

- ・航空レーザデータを用いた自然環境の把握に関する研究:小荒井衛

◇日本リモートセンシング学会国土防災リモートセンシング研究会ワークショップ 平成 25 年 12 月 4 日 茨城県産業会館(茨城県水戸市)

- ・衛星リモートセンシングの防災・環境問題への利活用:小荒井衛

◇産業技術連携推進会議知的基盤部会地質地盤情報分科会平成 25 年度講演会「東日本大地震における液状化被害と地質地盤情報の活用」 平成 25 年 12 月 6 日 明海大学(千葉県浦安市)

- ・東日本大震災における液状化被害と地理空間情報を活用した液状化発生危険度の予想:小荒井衛

◇2013 AGU Fall Meeting(米国地球物理学連合講演会) 平成 25 年 12 月 9 日～13 日 米国 サンフランシスコ

- ・Development of GEONET real-time analysis system for rapid Mw estimates in Japan(日本国における迅速な Mw 推定を目的とした GEONET リアルタイム解析システムの開発):川元智司

◇第 19 回地下空間シンポジウム 平成 26 年 1 月 22 日 早稲田大学国際会議場(東京都新宿区)

- ・既存資料の活用による効率的な屋内空間三次元 GIS データ作成方法のためのマニュアル案の作成:乙井康成

◇つくばサイエンス・アカデミー 平成 26 年 1 月 24 日 つくば国際会議場(茨城県つくば市)

- ・最適な地図投影法を求めて:神谷泉

◇JAXA/EORCASL セミナー 平成 26 年 2 月 13 日 JAXA/EORC(茨城県つくば市)

- ・SAR 干渉解析のための数値気象モデルを用いた大気遅延誤差の低減処理ツールの開発:小林知勝

◇日本地学オリンピックとつぷ・レクチャー 平成 26 年 3 月 23 日 産業技術総合研究所(茨城県つくば市)

- ・大地の動きから探る地球の営み:水藤尚

◇日本地理学会 2014 年春季学術大会 平成 26 年 3 月 26 日～27 日 国土館大学世田谷キャンパス(東京都世田谷区)

- ・シンポジウム「レジリエントな国土・地域社会の構築に向けた地理学的課題」の趣旨説明:小荒井衛・芮京祿(千葉大学)・熊木洋太(専修大学)

- ・地理学的地域特性区分についての考察:小荒井衛・芮京祿(千葉大学)・中埜貴元

◇巨大地震プロジェクト報告会 平成 26 年 3 月 27 日 筑波大学(茨城県つくば市)

- ・地震時の地盤災害のリアルタイム予想:神谷泉